

肥料・飼料等の放射性物質濃度の検査に係る支援		施策番号029
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	44	農林水産省
章	第3	
節	2	作成年月
項	(3)	平成25年5月
目	③	
予算措置の状況		
【平成25年度】 ・放射性物質による農畜産物等影響実態調査対策 788百万円の内数【復興特会】		
施策の内容		
○安全な食品の安定的な供給のために、生産段階において農林水産物や農地土壌、飼料、肥料等の検査が円滑に実施されるよう都道府県等に対し、検査機器の整備等への支援を実施。 ○農地土壌、飼料及び肥料の放射性セシウム検査について、福島県からの依頼に応じて測定を実施するほか、肥飼料に係る科学的データを収集する。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
○原発事故後、これまでに都道府県等に対し、農林水産物や農地土壌、飼料、肥料等の検査が円滑に実施されるようゲルマニウム半導体検出器17台（うち福島県に1台）、簡易型検査機器218台（うち福島県に67台）の導入を支援（平成25年4月現在）。 ○福島県が実施する堆肥の放射性セシウムの検査について、福島県の依頼に応じて、これまでに4,736検体の測定を実施（平成25年3月末現在）。また、飼料については許容値の妥当性を検証、肥料については検査計画を改定。 ○引き続き、福島県の堆肥等の放射性セシウム検査が円滑に実施されるように支援。		

農地土壌の放射性物質濃度分布図の作成		施策番号030
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	44	農林水産省
章	第3	
節	2	
項	(3)	作成年月
目	③	平成25年5月
予算措置の状況		
【平成25年度】 ・放射性物質測定調査委託事業 22百万円【復興特会】		
施策の内容		
○福島県の生産者ほ場を対象に、農地土壌等の放射性核種の濃度を測定し、農地土壌の放射性物質濃度の推移を把握する。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
○東電福島第一原発事故の発生に伴い、15都県、約3,400地点（うち福島県 約2,200地点）の農地土壌の放射性物質濃度を調査し、その結果を平成24年3月に公表。 ○平成24年度においても補足的な調査を行い、農地の除染など今後の営農に向けた取組を進めるため、農地土壌の放射性物質の分布について調査を実施。 ○平成25年度についても引き続き調査を実施中。		

ため池等汚染拡散防止対策実証事業		施策番号030-2
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	44	農林水産省
章	第3	
節	2	作成年月
項	(3)	平成25年5月
目	③	
予算措置の状況		
【平成24年度(補正)】 ・ため池等汚染拡散防止対策実証事業 700百万円【復興特会】 【平成25年度】 ・ため池等汚染拡散防止対策実証事業 1,930百万円【復興特会】		
施策の内容		
○ため池等の農業水利施設の水質・底質の放射性物質汚染状況のモニタリング調査を行い、分布や動態の傾向の分析を行うとともに、農業水利施設等からの放射性物質の拡散を防止する対策工の検討・実証を行う。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
○専門家の助言を得つつ、ため池等の農業水利施設のモニタリング調査を実施するとともに、汚染拡散防止対策工を効果的に実施。その成果を汚染拡散防止技術対策の技術書としてとりまとめ、公表。		